

[戻る](#)

台座の地面の比較(USB はいつ埋められたか?)



拡大しても画質が落ちないソフトを使用し、それぞれ拡大



ま と め

雲取山に誰がいつ USB を埋めたのかという件について、2013 年 9 月 24 日、第 5 回公判前整理手続後の記者会見で佐藤弁護士は次のように語っている。

「片山さんが雲取山に登ったのは昨年(2012)の 12 月 1 日であるというのは我々も認めてきました。検察は雲取山の山頂に USB メモリを埋めたのは片山さんと明言しながら、その時期について、書面で 12 月 1 日「頃」と主張しているのは既にご説明したとおりです。というのは 12 月 1 日に埋めたという証拠がないからです。実は、平光検事が、片山さんが USB メモリを埋めた人物では無いとしても、共犯者が情を知らない第三者に埋めさせた可能性が残るんだと今日、明言しました。」

公判で明らかにされた情報によれば警察は、まず 12 月の登山者を調べ、それから 11 月と 1 カ月毎に遡って調べていったという。このため kokohore2 の「USB 写真」が撮られた日を特定していないと思われる。ここで、捜査側が 12 月 1 日と特定出来なかったのは 12 月 1 日の登山者への聞き込みで、片山氏が埋めたとする有力な証言が得られなかったからだろう。この写真が 12 月 1 日に撮られたものでなければ、片山氏は USB を埋めていないことになり、自白は嘘ということになる。真犯人は別にいて、片山氏を犯人に仕立てるために、わざわざ後から雲取山に登って USB を埋めたことになる。ヤマレコによると 12 月 20 日は 10:05 に既に山頂に着いている人がおり、USB が埋められたのは 12 月 19 日だと思われる。2,017m の冬山で 10:15 分前には山頂に着いているので USB を埋めた犯人はかなり登山経験のある者と言える。また、片山氏は 12 月 16 日から 12 月 21 日までタイ旅行に行っており、これに関して完全なアリバイがある。

「今年最後は快晴の雲取山 (小袖～雲取山)-2012/12/20」

→<http://www.yamareco.com/modules/yamareco/detail-253777.html>

このことで事件は複数の者による犯行との疑いが生じる。もし、単独犯であったなら犯人も片山氏と同様、雲取山に登り、江の島に行ったことになる。犯人なら、このような行動は避けるだろうと思う。もう一つはヤマレコから取った写真に USB を埋めた場所を「このへん」と示しているが、その場所を間違えているからである。kokohore1 を作った人物は USB を埋めた場所を知らなかったと思われる。kokohore2 では掘った穴は一見、台座の横にあるように見える。しかし、警察がこの場所を掘っても USB が見つからなかったように、USB は台座の下にあった。12 月 19 日の写真で、台座の横が雪で埋まっていないのもそのためである。kokohore2 を見た犯人がそれと知らず、そのまま台座の横に「このへん」としたもので、自分で埋めたのなら台座を指して「このした」となっているはずである。それなら警察もやすやすと 1 月 1 日に USB を発見していたことだろう。

公判中に自分がやったと自白した片山氏であるが、その割に供述が具体的でないのは犯人ではないからである。猫の写真撮った機種については目新しい自白があったが、IT に関しては特別弁護士と検討した話をし、その他については検察の言い分をそのまま喋っているだけのように思える。もし、裁判で「三角点の写真に何故、自分で撮った写真を使わなかったのか？」と問われたとき、果たして片山氏はどのように答えるのだろうか。